

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2005-2006

ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 2510

No. 6
2005.12



SERVICE Above Self

2005-2006 ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区

2005-2006年度 ガバナー

塚原 房樹 FUSAKI TSUKAHARA

〒060-0042

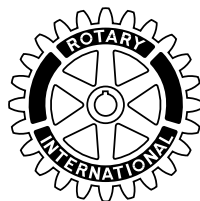
北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F

TEL・FAX(011)207-2510

e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

2005 - 06年度 国際ロータリーのテーマ



超我の奉仕

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	01
ガバナー公式訪問	04
地区大会特集	06
投稿記事	
自動車道周辺に幼木100本植える (留萌RC)	10
「2005 ドイツでいこう In Takikawa」 (滝川RC)	10
GSEメンバー紹介	11
ロータリーの友委員会報告	11
100%ポール・ハリス・フェロー・クラブの紹介	12
ご協力に感謝申し上げます	
ロータリー財団	12
米山記念奨学会	12
2004年国際大会決算報告書	13
会員訃報・新入会員のご紹介	14
青少年交換派遣学生募集	14
例会変更・文庫通信	15
地区カレンダー (12月・1月)	16
10月の出席率・会員数	17

■ガバナーメッセージ



2005 - 2006年度
国際ロータリー第2510地区
ガバナー 塚原 房 樹

「ロータリーの本(忘れ得ぬ一冊の書)」

地区大会を無事に終えることができました。ご参加いただいた全てのクラブおよび会員の皆様に心から感謝を申し上げます。

中島RI会長代理は、卓越したロータリー知識の持ち主で、また人間的にもスケールの大きい方でした。ロータリーは百年の歴史を終え「奉仕の新世紀」を迎えるにあたり、先人の心を訪ねその心をこれからのロータリーに活かすことが必要です。ロータリーの普遍の理念の大切さを改めてご指導頂きました。素晴らしい会長代理をお迎え出来たことは我々にとってこの上なく幸せなことでした。

また地区大会の目玉として新たに設けました「指導者育成セミナー」のプログラムは、片岡暎子氏、道下俊一PG、田中毅PGを交えて「財団フォーラム」、「新世紀シンポジウム」を開催いたしました。内容や成果につきましては、十分把握をしておりませんが、皆さんから示唆に富んだ内容であったとご好評をいただいております。天候にも恵まれ、ホストクラブの皆様の並々ならぬご努力のおかげで大過なく大会を終えることができました。ありがとうございました。

地区大会終了後の10月27日、私のホームクラブである札幌東ロータリークラブの公式訪問を終え、余すところ函館セントラルクラブのみとなりました。

思えば7月1日の小樽南RCさんを皮切りに、本当に大勢の方のお世話になりました。どのクラブの皆さんとも精一杯お話をさせていただきましたが、私の力不足で十分お役に立てなかったことをお詫び申し上げます。私が公式訪問で終始申し上げたかったことは、「ロータリーの目的は奉仕の心を育成すること」で、「奉仕はロータリーの目的ではなくロータリアンを訓練する手段である」ということでした。ここで自省の意味でもう少しロータリーの奉仕について振り返ってみたいと思います。

四国の今治RCに森光繁さんという会員がおられました。昭和26年に「ロータリーの本」というロータリーの綱領についての小冊子を刊行されました。私にロータリーとは何かを教えてくれた貴重な書です。昭和26年というと日本のロータリーが国際ロータリーに復帰したわずか2年後のことです。この本からいかに戦前のロータリアンの質が高かったか伺い知ることが出来ます。綱領は四項目からなっていますが、その中で特に綱領の第三奉仕部門、社会奉仕について、今まで全世界のロータリアンが誰もなしえなかった素晴らしい森氏の所説をご紹介します。

『綱領の第三に、「**ロータリアン全てが、その個人生活、事業生活、および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること**」とありますが、奉仕の理想を千差万別な、日常生活に適用しようなどということとは出来ることではない。なぜなら日常の千差万別な、そして何の脈絡も無く、相互に関連性無く発生する諸現象に奉仕の理想を適用しようと身構えることがそもそも無理なことである。それはあたかもザルで水を掬うようなものである。しかしザルを水の中に入れることはたやすく行うことが出来る。人間の心の世界は無限性を持っているから、これを「奉仕の海」に浸しておくこと、心は「奉仕の海」に住んで常住坐臥、奉仕の世界から抜け出すことは出来ない。したがってその心を持って淡々たる行動を日常万般の生活の中で行えば、その行動はおのずから、奉仕の心の実践という形をとる』。

これが奉仕の心の適用に当たると説くのであります。もう少し徹底して云えば、一切の生活の中に「奉仕の理想」が適用されるというよりも、一切の生活が「奉仕の理想」の中に没入している姿が最も理想的であります。私はこの「奉仕の理想」を今年度のRIのテーマ「超我の奉仕」に置き換えていただきたいのです。

ステンハマーRI会長は、強調事項の一つに「超我の奉仕」をよく理解して実践してほしいといわれました。「超我の奉仕」を一片の知識(Knowledge)として理解するのなら中学生でも出来ます。よく理解して実践するとはどういうことでしょうか。ステンハマー会長は単なる知識ではなく、智慧(Wisdom)にまで昇華させて欲しいと願っておられます。「超我の奉仕」を智慧にまで高めるとは、具体的にどうすればいいのでしょうか。

我々には本来の仕事があり、そのほかにロータリーがあるというのは間違っています。つまり我々の仕事や生活の一部分にロータリーがあるのではなく、我々の仕事や生活の基本が「超我の奉仕」の中に無ければなりません。日本のロータリーの始祖、米山梅吉氏の言葉を引用させていただきます。『自分の人生に於いて判断の背後にございますものはロータリーの理論でございます。その理論はどこから来たのかということロータリーの例会出席を通じてでありまして、その意味でロータリーの例会は人生の道場といえます。私のことをロータリーの米山と呼んでいただいて結構です』。

森光繁氏のいわれた「奉仕の海」とは、米山さんにとっては、ロータリーの例会のことでした。

また私は、公式訪問の際困っている人の戸口にそっと物を置いてくるのは立派な奉仕の実践ですが、ロータリーでは困っている人の戸口へそっと物を置いてくることよりも、むしろ困っている人に物を届けるといふ心の境地のことを奉仕だといいました。「奉仕の心の育成」がロータリーの目的で「奉仕の実践」は奉仕の心を育成する手段です。

『奉仕の心の無いままに、ただ奉仕を形に現してロータリーを示そうとすればこれは奉仕ではなく寄付であり、慈善行為となってしまいます。奉仕をはじめから何か形で表そうとすることは悪く言えば安易を求めるものであって、決してロータリーの奉仕ではありません。見せたい奉仕、後に残したい奉仕、こんな衝動に駆られる気持ちも分からなくないが、何故奉仕を形にしたいために、どうしてあんなに苦勞するのか。その苦勞を例会を通じてロータリーの心を育成するための努力にしたらどうだろうか。奉仕がいかに華々しい形で示されてもロータリーの心のこもらぬものならば、その活動は奉仕ではない』これも森光繁氏の言葉です。

さて社会奉仕ですが、ライオンズクラブは例会のたびに寄付金を集めて団体に金銭奉仕をします。公園に時計塔を寄贈したり、町に救急車を寄付したりします。1917年メルビン・ジョーンズによりテキサスのダラスで活動を開始し、今日のわが国の多くの地域社会において大変活発な運動を行っているライオンズクラブの奉仕に対し深い敬意を表しながら、一体ロータリーの社会奉仕は、ライオンズクラブのそれとどう違うのでしょうか。

まず云えることは、ロータリーの社会奉仕活動の資金はニコニコ箱が頼りで事業資金は持っていません。皆さんの払う年会費はクラブの運営費で、奉仕のお金は含んでいません。クラブの大小にもよりますが、大体一クラブあたり年間15万円から30万円くらいがニコニコ箱より割り当てられています。しかしロータリークラブは地域の中から選ばれた職業人の集まりです。その職業人たちが、年間15万円から30万円のお金を地域社会に還元したからといって、果たしてロータリーは奉仕クラブといえるのかという問題があります。実はこのお金は社会奉仕の事業費ではなくて、社会奉仕委員長さんが毎年、地域の中にどのような救済の手を待っているニーズがあるのかを調べる調査費であり、そしてそのニーズを会員に伝え、救済活動の働きかけをする「呼び水」なのです。

社会奉仕は、クラブ全体でも行いますが、大事なことは金銭による団体奉仕ではなくてロータリーアン一人一人の個人奉仕なのです。綱領にあるとおり「**ロータリアン全てが、その個人生活、事業生活、および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること**」なのです。

ロータリーの社会奉仕は“コミュニティーサービス”の訳語です。コミュニティーサービスを日本語で社会奉仕と訳したものですから、おかしなことになってしまいました。社会奉仕というと、強い立場のものが弱い立場のものに対して何かを施す、恵んであげるというイメージがどうしても伴います。けれども、もともとのコミュニティーサービスは、「良き市民たれ」というのが本筋です。コミュニティーサービスを適当な日本語に訳せないかと考えたときに浮かんだのは、「親身になる」

という言葉です。「親身になる」とは「相手の身になる」ことで「友情にあふれた関係」を作ることです。

「親身になる」ということが、自分の町内で発揮されれば、それがコミュニティーサービスです。お互いに友情あふれたコミュニティーを作ることが社会奉仕なのです。ロータリー運動の中核をなすものすなわち一番大事なものは、何であるかということ、仮に表現したならこのようにいえます。

自分の住んでいる町や市に対して、親身になれば、商売においても親身になれば、ということが高く掲げて、そのような人に育っていく事を手助けする。一人一人の努力も勿論大切ですが、一人より二人、二人より三人が、一緒に励ましあい教えあう中から、そういう「親身になることの喜びを味わえる」人々の和を広げていく事、これがロータリー運動の中核をなすものではなからうかと思うのです。

また12月は家族月間です。一般的に家族というと両親、子供、孫といった身近な自分の家族を指します。けれども、ロータリーの云う「ロータリー家族」は、もっと範囲が広くクラブの会員はもちろん、元会員の配偶者、ローターアクターやインターアクター、青少年交換学生などロータリーと関わりのある全ての方々を含むようです。ロータリークラブは家族に似た個人関係を築く一方で、多様性を発揮します。「家族月間」とはロータリークラブが家族のように親しくなるには、更に何をしたらいいのかを考える「月間」にしてください。

最後になりましたが、会長幹事さんにはあわただしい師走を迎え何かとお忙しいことと存じます。向寒のみぎり、くれぐれもご健康にご留意の上良き新年をお迎えください。

引用文献 森 光繁（ロータリーの本） 森 三郎（私のロータリー）

ポール・ハリスの言葉

Two things seem to me important in my more than three score and ten years of life – my New England valley and the Rotary Club movement.

“My Road to Rotary”

【私の70余年の人生で大切なものが2つあります。

1つはニューイングランドの谷あいの村、もう一つはロータリー運動です】

“わがロータリーへの道”

ポール・ハリスは『私がロータリーに身を捧げるようになった源を探っていくと、故郷の谷間、村人の人情、宗教や政治に対するおおらかな心遣いにまでさかのぼる。見方によればロータリーは故郷の谷間で産声を上げた』と述懐しています。ポールはニューイングランドのピューリタンの家庭における厳しい躾けや教育というものの大切さ、またあらゆる信条に寛容であることを学び、これを全ての人々に広めようと考えました。こうして今から100年前の2月23日、風の強い凍てついたシカゴの夜にロータリーは呱呱の声を上げました。

ロータリーの故郷はポールが少年時代を過ごしたバーモント州の谷あいのウォーリングフォード村でした。

ガバナー公式訪問ではありがとうございました



森RC公式訪問（9月7日）



函館北RC公式訪問（9月7日）



北広島RC公式訪問（9月12日）



白老RC公式訪問（9月13日）



上磯RC公式訪問（9月15日）



函館RC公式訪問（9月15日）



ガバナー公式訪問ではありがとうございました



函館五稜郭RC公式訪問（9月16日）



江差・松前RC合同公式訪問（9月16日）



千歳セントラルRC公式訪問（9月20日）



恵庭RC公式訪問（9月21日）



長沼RC公式訪問（9月26日）



当別RC公式訪問（9月27日）

国際ロータリー第2510地区大会

10月15日（土）、16日（日）の両日に亘り、中島治一郎RI会長代理ご夫妻を迎えて札幌コンベンションセンター、札幌ロイヤルホテル、札幌パークホテルで開催されました地区大会には、地区内各クラブより多数のご参加を賜り盛会に終了致しました。誠にありがとうございました。



会長・幹事会 (札幌コンベンションセンター)



本会議兼地区指導者育成セミナー 【地区財団フォーラム】



地区大会特集

**シンポジウム
「奉仕の世紀を迎えて」**



**本会議兼地区指導者育成セミナー
【地区財団学友会総会】**



RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 (札幌ロイヤルホテル)



2 **大会**

**本会議 (札幌コンベンションセンター)
ご来賓祝辞**



**中島治一郎RI会長代理
現況報告**



クラブ紹介



記念講演「バカの壁」養老孟司氏



表彰



並行プログラム



友愛の広場



懇親会



記念囲碁大会

10月10日(祝)、日本棋院北海道支部において地区内各クラブより32名のご参加を戴き開催されました。



記念ゴルフ大会

10月14日(金)、札幌ゴルフ倶楽部輪厚コースにて開催されました。



自動車道周辺に幼木100本植える

平井 誠 治 (留萌RC)

市民待望の高規格幹線道路「留萌深川自動車道」の幌糠インターチェンジが来年秋開通の予定だ。好天に恵まれた10月12日(水)留萌ロータリークラブの植樹例会がこの地域で本年もまた実施された。

それぞれ作業服に着替えたクラブ会員たちは、ミズナラ、シナノキ、ハルニレなど周辺に自生する7種類の幼木100本を道路ののり面に丹念に植え込んだ。

道路周辺の自然回復と景観整備を目的に去年は同道の幌糠ゾーンで、そして本年は峠下ゾーンで、当クラブの植樹活動が会員たちの心地よい汗と慣れた手つきで続けられてきた。

地域住民参加による道路植樹会が望まれている昨今、当クラブのこの活動が自動車道周辺の緑化に一役を買い、さらに住民協力による植樹活動の拡がりになることを期待している。



社会奉仕委員会活動報告

『2005 ドイツでいこう! In Takikawa』

明 円 直 志 (滝川RC)

ドイツ年を記念して去る10月30日(日)に滝川市と共催で標記イベントを開催しました。まず、ドイツ連邦共和国の環境省にあたる環境自然保護・原子炉安全省のハラルド・ナイツェルさんには、ドイツにおける官民挙げての環境への取り組みについて、ドイツでは環境活動のキーワード「地域で取り組み楽しもう」「持続可能性」であることを数々の事例をまじえて講演していただきました。

次に環境アドバイザーとして札幌で活躍しているビアンカ・フルストさんから、楽しくて得するドイツのエコライフ事情として紙コップなどを使わずマイマグカップやエコプラスチックなど実物を示して紹介、すぐにでも北海道で取り組めるものがあると熱く語っていただきました。

最後に元デュッセルドルフ総領事館料理長の寺西健雄さんから、意外と食にこだわりのないドイツ人の食生活を紹介してもらい、ドイツ料理のデモンストレーションさらに試食会があり、来場者はマッシュポテトやドイツワインに舌鼓を打ち、イベントは盛況のうちに終了となりました。





GSEメンバー紹介 ④

GSE派遣チームメンバー
高倉 美穂子

2005-2006年GSEメンバーの高倉です。派遣まであと二ヶ月となり、緊張しつつも委員の方々やメンバーに励まされその緊張も楽しめる様になった今日この頃です。月一回の研修では、プレゼンテーションを中心として行っております。主に日本の四季や行事・風習、メンバー個人の職場の紹介といった内容なのですが、日常行っている事柄の意味を知らない事が多かったり、資料の為の写真を通じて四季の移り変わりに感動したりと、普段見ている見どころが多かったり、新たな発見をし、喜びに変えています。

私は、グループホームで介護の仕事に従事しております。仕事でも日によって娘だったり、孫だったり、嫁になったりと割り振られながら、その行動を受け入れ楽しんだり驚いたりとの連続です。その中に、本音や希望が見え隠れしている事もあり、日々気持ちを新たに接して行こうと心がけております。

タイでの職場研修は福祉施設を希望しているのですが、国民性や宗教の違いはあれど、利用者・職員の方と心の共通性を見出してゆけたら素晴らしいと思っております。

派遣の前からこのような勉強や、視野を広げて下さった事にとっても感謝しております。又、派遣に際し、月々の研修も含め職場の理解があつてこそ成り立っている事を忘れてはなりません。国境を越えた新たな発見を数多く出来る事を待ち望んでおります。そしてそれが私自身、家族、同僚に伝えるべき財産になると思われれます。

ロータリーの友委員会報告

ロータリーの友地区委員
黒澤 昌彦 (札幌東RC)

11月14日(月) 12:30より「メルパルクTOKYO」にてロータリーの友地区委員・常任委員合同会議が開催されました。冒頭の挨拶で渡邊 隆「友」委員長(習志野RC)は「友」誌は34地区のガバナーの委嘱によって製作されるものであるため、ガバナーの意向を十分反映させて欲しいと強調されておりました。

会議では、「ロータリー会員名簿」・「ロータリー手帳」申し込み状況についての説明があり、残り少ないので希望者はなるべく早く申し込んで欲しいとのことでした。

また、「友」誌に替わって「THE ROTARIAN」を購読している会員には出来ることなら、「友」誌の購読もお付き合い願いたいとのことでありました。

「友」誌投稿記事に関して、投稿した記事がなかなか掲載されないとの話が出たが、送付後6ヶ月をめぐりに判断して欲しいとのことで、活動後3ヶ月経ったもの、新聞記事の切り抜き、写真だけのものがありこの様な投稿記事は掲載出来ないとの説明がありました。

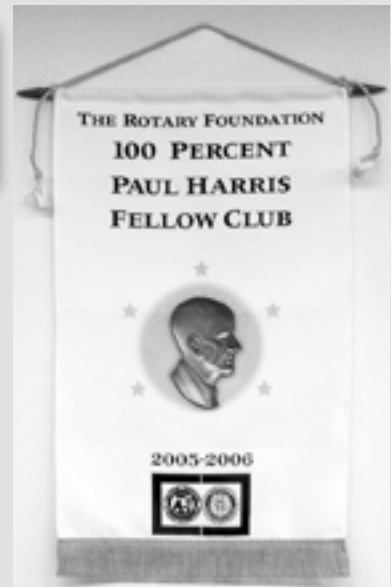
また、「ロータリーの友」ホームページについて説明があり、大いに利用して欲しいとのことです。ホームページを持っている地区及び地区内クラブで「友」ホームページと未だリンクしていないクラブは早急にリンクしたいとのことで、会長・幹事等担当者の署名付の承諾書を送って欲しいとのことでありました。

100%ポール・ハリス・フェロー・クラブの紹介

100%ポール・ハリス・フェロー・クラブの紹介

岩見沢東RCが2005年10月13日、地区内で初めて100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ（全会員がポール・ハリス・フェローになったクラブ）になりました。

ロータリー財団管理委員会から財団への感謝の印として写真のバナーが岩見沢東RCに贈呈されました。他に米国エバンストンの国際ロータリー世界本部に岩見沢東RC名の彫られたプラークが飾られます。弛まぬご支援に感謝申し上げます。



ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

ポール・ハリス・フェロー

大和力会員	(岩見沢東RC) 10月5日	柴野美智子会員	(岩見沢東RC) 10月5日
藤田文雄会員	(岩見沢東RC) 10月5日	渡辺直樹会員	(岩見沢東RC) 10月5日
高崎英雄会員	(岩見沢東RC) 10月5日	石橋宣利会員	(岩見沢東RC) 10月5日
只野公幸会員	(岩見沢東RC) 10月5日	中道博会員	(札幌南RC) 10月7日
林崎弘吉会員	(岩見沢東RC) 10月5日	吉田壽昭会員	(札幌南RC) 10月7日
稲垣政敏会員	(岩見沢東RC) 10月5日	滝口直久会員	(倶知安RC) 10月21日
		鈴木徹雄会員	(札幌あけぼのRC) 10月28日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

小島安彦会員	1回 (三石RC) 10月3日	野村勝隆会員	1回 (札幌はまなすRC) 10月26日
三味正明会員	1回 (札幌北RC) 10月4日	伊藤崇会員	7回 (深川RC) 10月27日
若狭吉範会員	3回 (札幌北RC) 10月4日	後藤田隆雄会員	5回 (深川RC) 10月27日
太刀川善一会員	9回 (函館RC) 10月14日	杉村修会員	5回 (深川RC) 10月27日
竹田公一会員	1回 (函館RC) 10月27日	吉本勲会員	4回 (深川RC) 10月27日
吉村洋吉会員	13回 (札幌真駒内RC) 10月21日	佐々木実会員	3回 (深川RC) 10月27日
佐々木則秋会員	6回 (札幌真駒内RC) 10月21日	成田昭彦会員	3回 (深川RC) 10月27日
佐藤泰彦会員	6回 (札幌真駒内RC) 10月21日	下村寿太郎会員	2回 (深川RC) 10月27日
南部昭憲会員	1回 (札幌真駒内RC) 10月21日	池垣清信会員	19回 (函館東RC) 10月28日
鈴木徹雄会員	1回 (札幌あけぼのRC) 10月25日		
村井么乙会員	2回 (室蘭北RC) 10月25日		
松田博文会員	1回 (室蘭北RC) 10月25日		
神島章会員	1回 (室蘭北RC) 10月25日		
大石春雄会員	2回 (札幌はまなすRC) 10月26日		

米山功労クラブ

札幌真駒内RC	20回	10月21日
札幌あけぼのRC	6回	10月25日
札幌はまなすRC	3回	10月26日

国際大会決算報告書

国際ロータリー2004年国際大会(関西) ホスト実行委員会決算報告書

実行委員長 近藤 雅臣
副実行委員長(事務総長) 吉川 謹司
副実行委員長(財務長) 井上 暎夫

【収入の部】

	決 算 額	摘 要
会員拠出金 ホスト4地区	375,782,809	1人 4,000円宛 1998年より5年間
〃 4地区外	994,661,765	1人 2,000円宛 1998年より5年間
4地区準備負担金	4,000,000	ホスト4地区 1996年より2年間
RI負担金	88,395,200	交通、危機管理、プログラム、友愛の家
登録料	16,799,580	パークフェスタ、N響、アレコンベンション(京都デー、神戸ナイト・クルーズを除く)
雑収入	26,311,549	グッズ、パッチ販売、駐車料金、ドネーション、DVD・記録誌販売、RYLA事務局費、預金利息
合計	1,505,950,903	未収入金 92,000 を含む

【支出の部】

	決 算 額	摘 要
事務局費	63,959,602	人件費、備品、通信費、事務用品、家賃
総務委員会費	42,074,007	RI打合せ費、オン・ツー・オオサカ、実行委員会会議費、大会運営費、監査料
海外広報費	39,019,624	アナハイム、バルセロナ、ブリスベン
会場費	362,712,117	大阪ドーム、大阪国際会議場、リーガロイヤル、RI事務局
第1部会 登録・受付	11,840,519	コンgresバッグ 封入、配布
第2部会 歓迎・インフォメーション	81,321,540	空港・JR・市内案内ブース、歓迎バナー、N響コンサート、バッグ
第3部会 友愛の家・日本文化紹介	96,871,123	友愛の家(RI負担 ¥11,600,000)
第4部会 青少年関係	53,616,353	YEO、RAC、RYLA、青少年の家(インターネットカフェ)、J-RYLA
第5部会 交通・輸送	151,821,614	関西バス配布、駐車場、ホスト行事送迎費(RI負担 ¥42,240,000)
第6部会 プログラム	84,237,579	日本独自プログラム、プレショー(RI負担 ¥17,000,000)
第7部会 アトラクション	31,067,548	日本提案出演者、演出
第8部会 設営・装飾	8,142,556	大阪ドーム、リーガロイヤルホテル、大阪国際会議場、サイン
第9部会 PR・報道	37,513,697	国内向けPR、報道
第10部会 宿泊・観光・ホームホスピタリティ	112,270,700	パークフェスタ、ホストプログラム、インフォメーション *1
第11部会 翻訳・記録	46,862,699	インフォメーション通訳、大会記録(DVD・CD・冊子)
第12部会 医療	1,185,144	RI補助医療
第13部会 VIP・接遇	3,861,510	RI
第14部会 アレコンベンション・国際研究会	1,395,105	国際研究会、財団学友
インターネット委員会	3,904,657	WEB
危機管理委員会	57,889,170	警備計画、実施、SAA(RI負担 ¥17,555,200)
計画策定推進	52,500,000	ジェイコム委託費
誘致準備委員会	11,540,104	準備委員会、推進委員会
ボリオ募金	6,493,282	N響チャリティーコンサート、道頓堀ナイトカフェ *2
合計	1,362,100,250	未払金 1,459,484 を含む
差引残金	143,850,653	

残金の処分 日本財団設立準備基金 *3	100,000,000
愛知万博	20,000,000
日本ガバナー会	23,000,000
精算予備費 *4	850,653

- *1 京都デー(第2650地区) 23,000,000円
神戸ナイトクルーズ(第2680地区) 8,000,000円
上記を補助金として支出。
*2 N響コンサートをボリオ撲滅のためのチャリティーコンサートとしたため、登録料及びドネーションをロータリー財団に寄付。
*3 残金処分については、2004年度日本ガバナー会に報告の上、実行委員会の決議による。
*4 最終費用を支出した残金は、日本ガバナー会 青少年育成委員会に入金。

監査報告

当委員会は本決算報告書につき、2005年10月31日開催の監査委員会にて慎重監査の結果、公認会計士による監査報告書の通り会計処理は適切に行われ、その結果を適正に表示していることを認めました。

2005年11月10日

監査委員会 第2640地区 月山 和男 第2650地区 山本 浩三
第2660地区 松本 良諄 第2680地区 奥村 孝

独立監査人の監査報告書

平成17年10月27日

国際ロータリー2004年国際大会(関西)

実行委員長 近藤雅臣 殿

事務所所在地 大阪府吹田市内本町2丁目7番3号

事務所名 公認会計士 西村武規事務所

電話 (06) 6381-8592

登録番号 第1643号

公認会計士 西村武規 

私は、国際ロータリー2004年国際大会(関西)実行委員会の依頼に基づく監査報告を行うため、国際ロータリー2004年国際大会(関西)の会計年度(1997年3月3日から2005年9月30日まで)の計算書類、すなわち、決算報告書(収支計算書)について監査を行った。

この計算書類の作成責任は実行委員会にあり、私の責任は独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査をおこなった。

監査の基準は、私に計算書類に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。

監査は、実行委員会より提出された計算書類及び帳簿並びに証憑書類を基に、試査を基礎として行われ、実行委員会が採用した会計方針及びその適用方法も含め全体としての計算書類の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

私は、上記の計算書類が、国際ロータリー2004年国際大会の2005年9月30日をもって終了する会計年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

国際ロータリー2004年国際大会(関西)実行委員会と私との間には、公認会計士法の規定に準じて記載すべき利害関係はない。

以上

会員計報・新入会員のご紹介

会 員 計 報



廣 田 満 男 会員
(岩内RC)
2005年9月4日ご逝去(享年79歳)

【ロータリー歴】
1962年9月1日 入会
1971～1972年度 副会長
1977～1978年度 会長
その他、多数の委員長を歴任されました。

【表 彰】
通年皆出席42年間
ポール・ハリス・フェロー



川 原 宏 一 郎 会員
(札幌東RC)
2005年9月6日ご逝去(享年73歳)

【ロータリー歴】
1978年11月9日 入会
1981～1982年度 SAA
1985～1986年度 幹事
1993～1994年度 親睦活動委員長
1997～1998年度 副会長 (職業奉仕委員長)
2001～2002年度 会長 (43代)

【表 彰】
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (3)
米山功労者 (3)

新入会員のご紹介

(敬称略)



黒 田 忠 雄
室蘭東RC
平成17年7月6日入会



佐々木 彰 夫
室蘭東RC
平成17年7月6日入会



千 田 学
室蘭東RC
平成17年7月6日入会



多 田 伸 一
室蘭東RC
平成17年7月6日入会



丹 治 典 久
札幌清田RC
平成17年9月6日入会



石 見 理 恵
札幌清田RC
平成17年10月4日入会



梅 津 時 央
岩見沢RC
平成17年10月7日入会



溝 口 和 男
苫小牧RC
平成17年10月14日入会



水 田 清 継
苫小牧RC
平成17年11月11日入会



日 高 修
滝川RC
平成17年10月20日入会

短期交換プログラム 派遣学生募集

青少年交換プログラムはロータリアンの子女である無しは問いません

派遣学生が家庭がホスト・ファミリー、受入学生と一緒に相手地区を訪問するプログラム!

- 派遣期間 約4週間(2006年7月末～8月末頃)
- 派遣国 ●カナダ ●アメリカ ●スイス

*派遣国は相手地区の都合等により変更がある場合があります。

- 応募期日 2006年1月18日(水)
- 選考日 2006年1月29日(日)予定

◎応募申請書類請求・送付先

【問い合わせ先】

045-0023 岩内町相生195

RI2510地区青少年交換委員会 野澤 幸平

*TEL: 0135-61-4728

*FAX: 0135-61-4832

*携帯: 090-1649-5810

例会変更について・文庫通信

例会曜日・例会時間・例会場の変更について

- 江別RC：12月15日（木）家族例会 18：30～ 場所：江別市民会館小ホール
12月22日（木）・12月29日（木）・1月5日（木）休会（定款第5条第1節により）
- 岩見沢RC：12月16日（金）は12月17日（土）に変更 家族忘年例会 18：00～ 場所：ホテルサンプラザ
12月30日（金）・1月6日（金）休会（定款第5条第1節により）
1月13日（金）岩見沢東RCとの合同新年交歓会 18：00～ 場所：ホテルサンプラザ
- 岩見沢東RC：12月27日（火）休会（定款第5条第1節により）
- 室蘭東RC：12月21日（水）定期総会・年忘れ夜間例会 18：30～ 場所：蓬峽殿
12月28日（水）休会（定款第5条第1節により）
- 室蘭北RC：12月13日（火）夜間例会・クリスマス家族例会 18：30～ 場所：ホテルサンルート室蘭
12月27日（火）休会（定款第5条第1節により）
- 登別RC：12月14日（水）創立記念夫人同伴夜間例会 場所：登別グランドホテル
12月28日（水）・1月4日（水）休会（定款第5条第1節により）
- 苫小牧RC：12月9日（金）夜間例会「クリスマス会・忘年会」 18：00～ 場所：ホテルニドム
12月30日（金）休会（定款第5条第1節により）
- 苫小牧東RC：12月8日（木）移動例会「忘年会」 18：00～ 場所：いといの湯
12月29日（木）休会（定款第5条第1節により）

地区役員の変更について

地区ロータリー財団委員（増進担当）の大村孝男会員（千歳RC）が転勤により退会されましたので地区組織図・地区名簿から削除をお願い致します。

文庫通信 218号

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。

ロータリー文庫 2004～2005年度会計報告

(貸借対照表)

資 産		負 債	
現金	130,585	雇用保険料預り金	10,217
普通預金	7,968,238	社会保険料預り金	172,471
定期預金	7,000,000	負債合計	182,688
仮払金	2,000	正味財産	
現金預金計	15,100,823	次期繰越剰余金	14,918,135
合計	15,100,823	合計	15,100,823

(収支計算書)

収 入		支 出	
会費収入	30,898,350	委員会費	1,408,362
雑収入	437,233	業務費	2,564,700
		貸借管理費	8,438,258
		人件費	16,458,577
		予備費	0
当期合計	31,335,583	当期合計	28,869,897
前期繰越収支差額	12,452,449	当期収支差額	2,465,686
収入合計	43,788,032	次期繰越収支差額	14,918,135

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

国際ロータリー為替レート 2005年12月 米貨1ドル=118円

地区カレンダー (12月・1月)

12月 ロータリー家族月間	
1 (木)	
2 (金)	
3 (土)	
4 (日)	第2回JYEC委員打合 (東京) 第2回青少年交換委員長会議 (東京)
5 (月)	
6 (火)	
7 (水)	地区補助金委員会 (札幌)
8 (木)	
9 (金)	
10 (土)	
11 (日)	地区青少年交換オーストラリア受入学生送別会 (札幌)
12 (月)	第1回ガバナー指名・第2回ガバナー諮問委員会 (札幌)
13 (火)	
14 (水)	
15 (木)	
16 (金)	
17 (土)	地区国際奉仕・世界社会奉仕・国際友好合同委員会 (札幌)
18 (日)	
19 (月)	
20 (火)	
21 (水)	
22 (木)	
23 (金)	天皇誕生日
24 (土)	
25 (日)	
26 (月)	
27 (火)	
28 (水)	
29 (木)	
30 (金)	
31 (土)	

1月 ロータリー理解推進月間	
1 (日)	元日
2 (月)	振替休日
3 (火)	
4 (水)	
5 (木)	
6 (金)	
7 (土)	
8 (日)	
9 (月)	成人の日
10 (火)	
11 (水)	
12 (木)	
13 (金)	
14 (土)	
15 (日)	
16 (月)	
17 (火)	
18 (水)	青少年交換短期派遣学生募集締切
19 (木)	
20 (金)	
21 (土)	
22 (日)	
23 (月)	
24 (火)	
25 (水)	
26 (木)	
27 (金)	
28 (土)	派遣GSE壮行会 (札幌)
29 (日)	2006年度米山奨学生選考試験 (札幌) 青少年交換短期派遣学生選考予定 (札幌)
30 (月)	
31 (火)	

2006-07年度関連の主要行事予定

● 会長エレクト研修セミナー

2006年3月25日 (土)、26日 (日)
場所: ホテルライフオーブ札幌

● 地区協議会

2006年4月9日 (日)
場所: ロイトン札幌

● 地区大会

2006年10月14 (土)、15日 (日)
場所: 札幌市民会館、ホテルライフオーブ札幌

10月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,986人
当月末会員数 (女性)	3,094人 (97人)
増加会員数	108人
当月平均出席率	84.58%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	05.10.31	増減	内女性	
1	深 川	4	38	39	1	2	86.81
	羽 幌	4	49	49	0	1	74.77
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	75.00
	小 平	4	13	13	0	0	73.08
	留 萌	4	49	51	2	0	93.02
	小 計		159	162	3	3	80.54
	2	赤 平	4	34	34	0	2
芦 別		4	48	48	0	0	84.88
砂 川		4	50	52	2	0	96.94
滝 川		4	106	109	3	1	73.30
小 計			238	243	5	3	84.16
3	美 唄	4	41	40	-1	0	92.00
	江 別	4	36	38	2	1	92.54
	江 別 西	4	35	36	1	3	93.74
	岩 見 沢	4	95	95	0	0	89.88
	岩 見 沢 東	3	35	36	1	4	79.80
	栗 沢	4	24	24	0	1	89.59
	栗 山	4	26	28	2	2	95.00
	当 別	4	38	38	0	1	78.95
小 計		330	335	5	12	88.94	
4	札 幌	4	123	133	10	0	98.51
	札幌あけぼの	4	16	16	0	1	100.00
	札幌はまなす	4	23	25	2	4	75.00
	札 幌 北	4	43	42	-1	5	91.80
	札幌モーニング	4	53	53	0	0	78.43
	札 幌 西	4	72	75	3	4	92.03
	札 幌 西 北	4	48	48	0	2	96.82
	札 幌 手 稲	5	41	41	0	1	98.02
	小 計		419	433	14	17	91.33
5	札 幌 東	4	121	122	1	0	99.34
	札 幌 清 田	4	28	30	2	7	100.00
	札 幌 幌 南	4	70	69	-1	0	99.60
	札幌真駒内	4	46	48	2	3	94.59
	札 幌 南	4	89	92	3	0	96.56
	札幌大通公園	4	19	19	0	4	62.23
	札幌セントラル	4	17	18	1	5	75.70
	新 札 幌	4	32	35	3	2	92.50
小 計		422	433	11	21	90.07	

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	05.10.31	増減	内女性	
6	岩 内	4	28	30	2	0	82.69
	倶 知 安	4	50	50	0	3	54.00
	小 樽	4	64	71	7	0	81.25
	小 樽 南	4	82	81	-1	0	84.72
	小 樽 銭 函	4	25	25	0	3	92.00
	蘭 越	4	11	11	0	0	79.53
	余 市	4	44	44	0	4	93.10
	小 計		304	312	8	10	81.04
7	千 歳	4	61	65	4	3	80.70
	千歳セントラル	4	27	28	1	0	81.10
	恵 庭	4	49	49	0	0	75.00
	北 広 島	4	17	17	0	2	82.35
	長 沼	4	18	18	0	3	88.89
	由 仁	4	13	13	0	0	86.54
	小 計		185	190	5	8	82.43
8	え り も	4	23	23	0	0	91.30
	三 石	3	16	17	1	1	90.19
	様 似	3	18	18	0	1	62.50
	静 内	4	66	71	5	0	82.92
	浦 河	4	33	34	1	1	98.53
	小 計		156	163	7	3	85.09
9	伊 達	5	55	59	4	0	77.96
	室 蘭	4	50	50	0	0	91.50
	室 蘭 東	4	43	47	4	0	91.27
	室 蘭 北	4	37	38	1	2	100.00
	登 別	4	36	37	1	2	83.79
	洞 爺 湖	4	9	9	0	0	100.00
	小 計		230	240	10	4	90.75
10	函 館	4	91	93	2	0	81.42
	函 館 亀 田	4	43	44	1	1	84.30
	森	4	42	42	0	0	78.50
	七 飯	4	20	22	2	0	69.30
	長 万 部	3	10	10	0	0	58.00
	函館セントラル	4	0	30	30	2	71.67
	小 計		206	241	35	3	73.87
11	江 差	4	17	17	0	0	85.00
	函館五稜郭	4	63	65	2	0	90.18
	函 館 東	4	43	43	0	4	87.42
	函 館 北	4	32	33	1	0	79.55
	上 磯	4	26	25	-1	2	54.00
	松 前	4	9	9	0	1	70.00
小 計		190	192	2	7	77.69	
12	白 老	4	23	23	0	0	75.00
	苫 小 牧	4	56	59	3	1	73.78
	苫 小 牧 東	4	31	30	-1	3	88.79
	苫 小 牧 北	4	37	38	1	2	93.57
	小 計		147	150	3	6	82.79
合 計		2,986	3,094	108	97	84.58	

SERVICE Above Self

